

BioJapan 2019 スポンサーセミナー

神奈川県発!

# 再生・細胞医療の社会実装に向けた オープンイノベーション拠点の形成

～再生・細胞医療戦略マップの作成から「この一年の歩み」と「今後の展望」～

神奈川県は、全国でも先進的な科学技術政策の活動実績・経験を糧に、川崎市殿町に整備したライフイノベーションセンター（LIC）を軸として、再生・細胞医療の社会実装に向けた取組を着実に進めています。

この中で、LICと同じく県内に立地する「かながわサイエンスパーク」、「湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）」といったサイエンスパークとの拠点間連携を軸に、大学や企業等を巻き込み、地域主導によるオープンイノベーション拠点の形成を目指して、様々な活動を展開しています。

本セミナーでは、昨年度の同イベントにおいて公表した「再生・細胞医療戦略マップ」の作成に携わり、その後の展開を議論した関係者から、最新の状況と今後の展望を発信してもらい、日本における「科学技術」を原動力とした「地域主導のオープンイノベーション」創成に向けた機運を醸成します。

日時： 令和元年10月10日 木 13時30分～14時30分

会場： パシフィコ横浜 アネックスホールF201 定員： 120名

内容：

● オープニング リマークス

再生・細胞医療戦略マップの公表後の神奈川の総合戦略

牧野義之 神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室  
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 副事業プロデューサー

● プレゼンテーション

再生・細胞医療の社会実装加速化に向けて

湘南アイパークの「ベンチャー企業支援や各種支援機能の検討」など

藤本利夫 武田薬品工業(株) 湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネージャー

● プレゼンテーション

全ては患者のために、「熱き思い」で「再生医療と最先端医療機器を融合した  
脊髄機能再生治療」の最新成果と今後の展望

中村雅也 慶應義塾大学医学部 整形外科教室 教授

● プレゼンテーション

「生もの」である「再生・細胞医療製品の品質評価」の国際競争力強化  
に向けた最新成果と今後の展望

佐藤陽治 国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞医療製品部 部長

● クロージング リマークス

殿町で展開する再生医療グローバル・ハブの共創に関する概要紹介

吉元良太 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター 特任教授  
Tonomachi リサーチコンプレックス推進プログラム オーガナイザー



## 中村雅也

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 教授

87年慶應義塾大学医学部卒業、慶應義塾大学助手（医学部整形外科学）。98年米国ジョージタウン大学Department of Neuroscience, Research fellow。00年慶應義塾大学医学部助手（整形外科学）。04年慶應義塾大学医学部専任講師（整形外科学）。07年京都大学再生医科学研究所 非常勤講師（兼務）。12年慶應義塾大学医学部准教授（整形外科学）。15年慶應義塾大学医学部教授（整形外科学）、慶應義塾大学医学部長補佐（産学連携・広報担当）



## 佐藤陽治

国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞医療製品部 部長

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了の後、米国シンシナティ大学医学部のポスドクとして心筋の興奮収縮連関に関する研究に従事。平成10年より国立医薬品食品衛生研究所に勤務。平成24年に遺伝子細胞医療部長となり、所内組織改編により平成26年に現職。現在の専門は、再生医療等製品の品質・安全性・有効性評価に関する研究。名古屋市立大学大学院薬学研究科客員教授、大阪大学大学院薬学研究科招聘教授、九州大学大学院薬学研究科客員教授も兼任。日本再生医療学会理事（データベース委員会副委員長）として、National Regenerative Medicine Database（NRMD）の構築に努める他、AMED官民共同研究「細胞加工製品の造腫瘍性評価に関する多施設共同研究（AMED-MEASUREプロジェクト）」研究代表者としても活動中。



## 藤本利夫

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネジャー

94年京都大学医学部卒、医師。09年神戸大学大学院経営学修士MBA。94-99年京都大学胸部疾患研究所入局 京都桂病院呼吸器センター、福井赤十字病院呼吸器外科で研修。99-2001年ドイツ ルアーランドクリニック胸部外科医員。01-03年京都桂病院呼吸器センター 副医長。03-04年ドイツ フライブルグ大学胸部外科 医員。04-05年アメリカ メイヨークリニック 一般胸部外科 臨床フェロー。05年静岡県立病院呼吸器外科 医長。06-17年日本イーライリリー株式会社（11-15年研究開発本部長 執行役員、15-17年研究開発本部担当、副社長）。17年12月 武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネジャー



## 吉元良太

慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター 特任教授 Tonomachi リサーチコンプレックス推進プログラム オーガナイザー

東京大学薬学部卒業。東京大学大学院薬学系研究科修了・薬学博士。味の素株式会社中央研究所基礎研究所（免疫研究グループ、医薬品薬効薬理研究室循環器薬）。中央研究所生物科学研究所医薬品薬効薬理研究室長（循環器薬・安全性薬理）。医薬研究所開発薬理研究室長（循環器薬・代謝性医薬・安全性薬理）。医薬事業本部臨床開発部海外開発グループ長。Ajinomoto Pharmaceuticals USA 社長。Ajinomoto Pharmaceuticals Europe 社長。味の素株式会社研究開発戦略部長。同社ヘルスイノフォーマティクス班長（プロジェクトリーダー）。同社アミノインデックス部長。同社シニアアドバイザー（研究開発企画部兼アミノサイエンス統括部）



## 牧野義之

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 副事業プロデューサー

94年横浜国立大学教育学部生命地球学科卒。同年神奈川県入庁 商工部金融課で産業政策に従事。97年藤沢土木事務所用地買収を担当。00年旧科学技術庁の地域科学技術振興室に赴向。02年県科学技術担当部署で、科学技術政策及び知的財産戦略の立案に加え、多くの産学公連携事業（文部科学省地域施策等含む）を立案・推進。09年財産経営課で土地の売却や裁判及び緊急財政対策等を担当。14年行政改革課で第3セクター等の指導・評価や行政改革大綱の立案を担当。15年より県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室で、異分野融合プロジェクトの立案・推進等の産学公連携活動全般などを担当。